

専門学校ESPエンタテインメント東京 ピアノ調律科

授業科目名	ピアノ調律理論Ⅱ		授業形態 / 必・選	講義	必修
	学則上表記	ピアノ調律理論Ⅱ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	18回(36単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置コース	ピアノ調律コース、ピアノノ管楽器コース			教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	楽器店に勤務後、フリーランスの調律師として活動中。				
授業概要					
グランドピアノを構成する部品の名称、役割を学ぶ。 「調律理論Ⅰ」で学んだ知識を活用し、調律理論(アップライト・グランド)、整調理論(アップライト。グランド)、修理解論、構造理論について学ぶ。					
到達目標					
それぞれの理論に対する知識の習得。ピアノ調律技能検定試験に出題されるため、合格を目標とする。 仕事の現場において素早く、柔軟な対応が可能な知識の習得。					
授業計画・内容					
【前期】 1～2回目	グランドピアノと部品とその動き				
【前期】 3回目	調律理論 ・検査音程 ・下律				
【前期】 4～7回目	整調理論(グランドピアノ)アクション系全24工程の項目について 第1工程:ネジ締め 第2工程:フレンジ点検 第3工程:ハンマー間隔直し 第4工程:ハンマー走り直し 第5工程:ハンマー角度調整 第6工程:弦合わせ 第7工程:鍵盤調整 第8工程:ベディングスクリュー調整 第9工程:鍵盤ならし 第10工程:鍵盤間隔直し 第11工程:白鍵あがき 第12工程:サポート合わせ 第13工程:ジャック前後調整 第14工程:ジャック高さ調整 第15工程:ハンマーならし 第16工程:ハンマー接近 第17工程:ハンマー戻り 第18工程:黒鍵あがき 第19工程:働き調整 第20工程:バックチェック合わせ 第21工程:バックチェックワイヤー曲げ 第22工程:ハンマーストップ 第23工程:レベティションレバースプリング調整 第24工程:アクション系総点検				
【前期】 8～10回目	材料学について ・アップパーブリッジ ・ヒッチピン ・プレッシャーバー ・ハンマーヘッド ・ハンマーシャンク ・ハンマーヘッド ・キャッチャー ・ウイベン ・ジャック ・バックチェック ・ブライドルワイヤー ・ダンパースプーン ・ダンパー ・ダンパーストップレール ・ダンパーロッド ・ジャックストップレール ・レギュレチングレール				
【前期】 11～13回目	修理について ・アップライトピアノの張弦 ・バットフレンジコードの交換 ・ハンマーシャンクの修理				
【後期】 14～15回目	張弦キットを使用した張弦方法 1. 張弦キットの張弦方法 2. アップライトピアノの張弦との違いについて 3. ピアノ調律技能検定試験内容の説明				
【後期】 16～18回目	整調理論(アップライト)について ・アップライトピアノの整調、全24工程について ・ピアノに起こる故障と原因について ・故障が起こりやすい箇所、故障の発見				
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)				
備考					

専門学校ESPエンタテインメント東京 ピアノ調律科

授業科目名	管楽器修理概論Ⅱ		授業形態 / 必・選	講義	必修
	学則上表記	管楽器修理概論Ⅱ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	13回(26単位時間)	年間単位数	1単位
科目設置コース	ピアノ／管楽器コース			教員の 実務経験の有無	非該当
担当講師 実務経歴					
授業概要					
1年次に学んだ基礎的な調整方法を元に、より細かな木管楽器修理と金管楽器修理の方法論を学ぶ。					
到達目標					
どんな状況でも修理対応ができる基礎力の修得。					
授業計画・内容					
【前期】 1～2回目	フルート/クラリネット 連動調整				
【前期】 3～4回目	フルート調整 ラックタンポ交換、アゴ調整、ヘッドコルク交換				
【前期】 5～6回目	クラリネット調整 レジスターキータンポ交換、リング高さ調整				
【前期】 7～9回目	サククス調整 ネックコルク交換、タンポ交換、連動調整				
【後期】 10～11回目	トロンボーン スライド調整				
【後期】 12～13回目	金管楽器 ハンダ付け				
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)				
備考					

専門学校ESPエンタテインメント東京 ピアノ調律科

授業科目名	管楽器商品知識Ⅱ		授業形態 / 必・選	講義	必修	
	学則上表記	管楽器商品知識Ⅱ	年次	2年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	15回(30単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置コース	ピアノ／管楽器コース、管楽器リペアコース、管楽器／打楽器コース			教員の 実務経験の有無	非該当	
担当講師 実務経歴						
授業概要						
ホルン・トロンボーン・ユーフォニウム・チューバ・オーボエ・ファゴット・マーチングブラス・アクセサリーの楽器・製品説明を、動画配信によるオンライン授業形式で学ぶ。						
到達目標						
楽器の特徴・メカニズム・システムから、メーカーごとの特徴・売りなど、販売修理知識の修得。						
授業計画・内容						
【前期】 1～4回目	ホルン概要・製品解説					
【前期】 5～8回目	トロンボーン概要・製品解説					
【後期】 9回目	ユーフォニウム概要・製品解説					
【後期】 10～11回目	チューバ概要・製品解説					
【後期】 12回目	オーボエ概要・製品解説					
【後期】 13回目	ファゴット概要・製品解説					
【後期】 14回目	マーチングブラス概要・製品解説					
【後期】 15回目	アクセサリー製品解説					
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)					
備考						

専門学校ESPエンタテインメント東京 ピアノ調律科

授業科目名	調律実技Ⅱ－B		授業形態 / 必・選	実習	必修	
	学則上表記	調律実技Ⅱ－B		年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	78回(156単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置コース	ピアノ／管楽器コース			教員の 実務経験の有無	該当	
担当講師 実務経歴	中古ピアノ店に15年務め、中古ピアノの調律、整調、修理、運送などに携わり、現在は委託の調律師として活動中。					
授業概要						
毎日違うピアノ(YAMAHA、KAWAI、アポロのアップライトやYAMAHA、KAWAIのグランド)のブースに入り、調律を行う						
到達目標						
アップライトは1台70分で調律する。 「ピアノ調律技能検定 実技試験」合格						
授業計画・内容						
【前期】 1～9回目	ピッチ2Hz変更1台 120分					
【前期】 10～19回目	28C～64C 割振・オクターブ調律・ユニゾン調律 70分					
【前期】 20～29回目	442Hzへ2Hz変更 120分 下律…約30分 本調律…約90分					
【前期】 30～39回目	ピアノ演奏 ・自由曲の選曲 ・練習してきたもののチェック その後 直し ・通しレッスン					
【後期】 40～49回目	442Hzへ2Hz変更 100分 下律…約20分 本調律…約80分					
【後期】 50～59回目	4Hz上げ 110分 下律込み。					
【後期】 60～68回目	ピッチ変更なし 1台70分 本調律のみ。					
【後期】 69～78回目	演奏レッスン ・強弱、表現のレッスン ・テンポ確認のレッスン ・通しレッスン(タイムを計る) ・通しレッスン仕上げ					
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)					
備考						

専門学校ESPエンタテインメント東京 ピアノ調律科

授業科目名	整調修理実技Ⅱ－B		授業形態 / 必・選	実習	必修	
	学則上表記	整調修理実技Ⅱ－B		年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	38回(76単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置コース	ピアノ／管楽器コース				教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	楽器店に15年ほど勤め、その後ピアノ調律事務所を独立開業し、現在に至る。					
授業概要						
調律理論Ⅱで学んだ知識をもとに実習(反復練習)を行う。						
到達目標						
総合的な修理、整調(アップライト・グランド)、再生技術の修得。 「ピアノ調律技能検定 実技試験」合格						
授業計画・内容						
【前期】 1～11回目	アクションモデルを使用し、グランドピアノ整調のアクション系全24工程の講義を受けながら、作業の手順や工具の使い方を覚える。					
【前期】 12～17回目	アップライトピアノの張弦					
【前期】 18～19回目	ハンマーシャンクの修理					
【後期】 20～21回目	ハンマーシャンクの修理					
【後期】 22～25回目	ピアノ調律技能検定 実技試験に向けて アップライトピアノのアクションモデルを使用しポイントとなる工程の練習					
【後期】 26～29回目	ピアノ調律技能検定 実技試験に向けて 「ピアノ調律技能検定 実技試験」で使用する張弦キットを用いての張弦					
【後期】 30～32回目	試験練習(30分×2セット) 判定後、直し					
【後期】 33～35回目	試験練習(15分×3セット) 判定後、直し					
【後期】 36～38回目	1台整調					
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出・内容、出席率等を総合的に評価)					
備考						

専門学校ESPエンタテインメント東京 ピアノ調律科

授業科目名	管楽器修理応用		授業形態 / 必・選	実習	必修
	学則上表記	管楽器修理応用	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	94回(188単位時間)	年間単位数	6単位
科目設置コース	ピアノ／管楽器コース			教員の 実務経験の有無	非該当
担当講師 実務経歴					
授業概要					
フルート・クラリネット・サクソ・トランペット・トロンボーン・ホルンの修理方法の実践。					
到達目標					
1年次の基礎を元に、より早く、より正確に楽器調整を完了させる。					
授業計画・内容					
【前期】 1～47回目 【後期】 48～94回目	木管楽器リペア フルート タンポ交換調整・連動調整・バランス調整・ヘッドコルク交換・キョコルク交換・パネ調整・パーツ交換				
	木管楽器リペア クラリネット タンポ交換調整・連動調整・バランス調整・ジョイントコルク交換・パネ調整・パーツ交換				
	木管楽器リペア サックス タンポ交換調整・連動調整・バランス調整・ネックコルク交換・パネ調整・パーツ交換				
	金管楽器リペア ハンダ付け・ピストン調整・スライド調整・ロータリー調整				
評価方法	学期末の課題提出の仕上がり状況と修理過程を加味した技術点評価、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)				
備考	楽器ごとの実習班に分かれた作業のため、履修楽器が順番に代わる。				

専門学校ESPエンタテインメント東京 ピアノ調律科

授業科目名	ピアノ業界知識Ⅱ		授業形態 / 必・選	講義	必修
	学則上表記	ピアノ業界知識Ⅱ		年次	2年次
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	2回(4単位時間)	年間単位数	0単位
科目設置コース	ピアノ調律コース、ピアノ／管楽器コース			教員の 実務経験の有無	非該当
担当講師 実務経歴					
授業概要					
楽器業界の企業による製品・技術セミナーやリクルートセミナー					
到達目標					
楽器の専門知識の実践と、実際の応用方法を理解する					
授業計画・内容					
【前期】 1回目	調律師としてのマナー講座(言葉遣い、身だしなみなど) 現場を想定したシミュレーション				
【後期】 2回目	学期業界の企業による製品・技術セミナー				
評価方法	平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)				
備考					

専門学校ESPエンタテインメント東京 ピアノ調律科

授業科目名	販売実習		授業形態 / 必・選	演習	必修	
	学則上表記	販売実習	年次	2年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	8回(16単位時間)	年間単位数	1単位
科目設置コース	ピアノ調律コース、ピアノ／管楽器コース				教員の 実務経験の有無	非該当
担当講師 実務経歴						
授業概要						
実践的な接客や販売(販売する商品の提案や、当日までの準備、予算内での工夫など)について学ぶ。						
到達目標						
接客や販売の基本的なスキルを身に着ける。						
授業計画・内容						
【後期】 1～8回目	ESP学園主催イベントでの店舗運営について ・販売する商品の提案 ・予算計画 ・販売するための事前準備 ・売上の目標設定 ・接客体験					
評価方法	平常点(授業態度、レポート提出・内容、出席率等を総合的に評価)					
備考						

専門学校ESPエンタテインメント東京 ピアノ調律科

授業科目名	調律応用実技(アップライト)A		授業形態 / 必・選	実習	選択	
	学則上表記	調律応用実技(アップライト)A	年次	2年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	40回(80単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置コース	ピアノ／管楽器コース				教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	中古ピアノ店に15年務め、中古ピアノの調律、整調、修理、運送などに携わり、現在は委託の調律師として活動中。					
授業概要						
毎日違うピアノ(YAMAHA、KAWAI、アポロ)のブースに入り、調律を行う。						
到達目標						
バランス良く1台調律をする。 「ピアノ調律技能検定 実技試験」合格						
授業計画・内容						
【前期】 1～20回目	ピッチ2Hz変更 1台調律 110分					
【後期】 21～40回目	ピッチ2Hz変更 1台調律 100分					
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)					
備考						

専門学校ESPエンタテインメント東京 ピアノ調律科

授業科目名	調律応用実技(アップライト)B		授業形態 / 必・選	実習	選択	
	学則上表記	調律応用実技(アップライト)B	年次	2年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	80回(160単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置コース	ピアノ／管楽器コース			教員の 実務経験の有無	該当	
担当講師 実務経歴	中古ピアノ店に15年務め、中古ピアノの調律、整調、修理、運送などに携わり、現在は委託の調律師として活動中。					
授業概要						
毎日違うピアノ(YAMAHA、KAWAI、アポロ)のブースに入り、調律を行う。						
到達目標						
バランス良く1台調律をする。 「ピアノ調律技能検定 実技試験」合格						
授業計画・内容						
【前期】 1～40回目	ピッチ2Hz変更 1台調律 95分					
【後期】 41～80回目	ピッチ2Hz変更 1台調律 90分					
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)					
備考						

専門学校ESPエンタテインメント東京 ピアノ調律科

授業科目名	調律応用実技(アップライト)C		授業形態 / 必・選	実習	選択	
	学則上表記	調律応用実技(アップライト)C	年次	2年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	120回(240単位時間)	年間単位数	8単位
科目設置コース	ピアノ／管楽器コース			教員の 実務経験の有無	該当	
担当講師 実務経歴	中古ピアノ店に15年務め、中古ピアノの調律、整調、修理、運送などに携わり、現在は委託の調律師として活動中。					
授業概要						
毎日違うピアノ(YAMAHA、KAWAI、アポロ)のブースに入り、調律を行う。						
到達目標						
バランス良く1台調律をする。 「ピアノ調律技能検定 実技試験」合格。さまざまな現場での業務に対応出来る技術習得。						
授業計画・内容						
【前期】 1～60回目	ピッチ2Hz変更 1台調律 85分					
【後期】 61～120回目	ピッチ2Hz変更 1台調律 80分					
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)					
備考						

専門学校ESPエンタテインメント東京 ピアノ調律科

授業科目名	調律応用実技(アップライト)D		授業形態 / 必・選	実習	選択	
	学則上表記	調律応用実技(アップライト)D	年次	2年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	160回(320単位時間)	年間単位数	10単位
科目設置コース	ピアノ／管楽器コース			教員の 実務経験の有無	該当	
担当講師 実務経歴	中古ピアノ店に15年務め、中古ピアノの調律、整調、修理、運送などに携わり、現在は委託の調律師として活動中。					
授業概要						
毎日違うピアノ(YAMAHA、KAWAI、アポロ)のブースに入り、調律を行う。						
到達目標						
バランス良く1台調律をする。 「ピアノ調律技能検定 実技試験」合格。さまざまな現場での業務に対応出来る技術習得。						
授業計画・内容						
【前期】 1～80回目	ピッチ2Hz変更 1台調律 75分					
【後期】 81～160回目	ピッチ2Hz変更 1台調律 70分					
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)					
備考						

専門学校ESPエンタテインメント東京 ピアノ調律科

授業科目名	調律実技(グランド)A		授業形態 / 必・選	実習	選択	
	学則上表記	調律実技(グランド)A		年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	40回(80単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置コース	ピアノ／管楽器コース			教員の 実務経験の有無	該当	
担当講師 実務経歴	調律事務所にてピアノ調律業務に携わり、その後フリーランスの調律師として活動中。					
授業概要						
YAMAHA、KAWAIのグランドピアノを使用し、110分で調律を行う。						
到達目標						
グランドピアノの調律を習得し、1台110分以内で仕上げることを目標とする。						
授業計画・内容						
【前期】 1～20回目 【後期】 21～40回目	■グランドピアノ調律の準備 ・屋根の開け方、鍵盤蓋・譜面台の取り外し方法 ・アップライトピアノとの調律方法の違い ・各セクションでの工具の使用方法 ■調律方法 ・ピッチ採り、割振り 音叉を使用し、440Hz 442Hzどちらかのピッチに合わせる。 その後、37A-42Dから割振りを始める。 ・中音オクターブの調律 ・低音オクターブ調律 ・高音オクターブ調律 ・低音、高音、中音 各セクションのユニゾン調律 ■各セクションでの工具の使い方について 調律方法はアップライトピアノとほぼ同じだが、工具の使用方法や使用箇所は異なるところもある。					
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)					
備考	上記工程を反復行うことで、グランドピアノならではの音を感覚的に捉えられるようになり、繰り返すほどその感覚は優れたものとなり、調律精度の向上、時間の短縮につながり、調律師としての技術力が向上する。					

専門学校ESPエンタテインメント東京 ピアノ調律科

授業科目名	調律実技(グランド)B		授業形態 / 必・選	実習	選択	
	学則上表記	調律実技(グランド)B		年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	80回(160単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置コース	ピアノ／管楽器コース				教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	調律事務所にてピアノ調律業務に携わり、その後フリーランスの調律師として活動中。					
授業概要						
YAMAHA、KAWAIのグランドピアノを使用し、110分で調律を行う。						
到達目標						
グランドピアノの調律を習得し、1台100分以内で仕上げることを目標とする。						
授業計画・内容						
【前期】 1～40回目 【後期】 41～80回目	■グランドピアノ調律の準備 ・屋根の開け方、鍵盤蓋・譜面台の取り外し方法 ・アップライトピアノとの調律方法の違い ・各セクションでの工具の使用方法 ■調律方法 ・ピッチ採り、割振り 音叉を使用し、440Hz 442Hzどちらかのピッチに合わせる。 その後、37A-42Dから割振りを始める。 ・中音オクターブの調律 ・低音オクターブ調律 ・高音オクターブ調律 ・低音、高音、中音 各セクションのユニゾン調律 ■各セクションでの工具の使い方について 調律方法はアップライトピアノとほぼ同じだが、工具の使用方法や使用箇所は異なるところもある。					
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)					
備考	上記工程を反復行うことで、グランドピアノならではの音を感覚的に捉えられるようになり、繰り返すほどその感覚は優れたものとなり、調律精度の向上、時間の短縮につながり、調律師としての技術力が向上する。					

専門学校ESPエンタテインメント東京 ピアノ調律科

授業科目名	ピアノ修理実技A		授業形態 / 必・選	実習	選択	
	学則上表記	ピアノ修理実技A		年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	40回(80単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置コース	ピアノ／管楽器コース			教員の 実務経験の有無	該当	
担当講師 実務経歴	調律事務所に2年半勤め、個人宅のピアノ調律・調整に携わり、現在はフリーランスとして 中古ピアノの修理や施設のピアノメンテナンスを中心に活動中					
授業概要						
1年次に修得した技術の応用に新たな技術を加え、各部品の修理を行う。						
到達目標						
反復練習による精度、速度等の技術力向上。 「ピアノ調律技能検定 実技試験」合格						
授業計画・内容						
【前期】 1～20回目	グランドピアノのセンターピン交換					
	アップライトピアノの張弦					
	ハンマーシャンクの修理					
【後期】 21～40回目	ハンマーシャンクの修理 細かい修理(ブライドルテープ、バットスプリングコード、バットスプリング)					
	ピアノ調律技能検定 実技試験に向けて 「ピアノ調律技能検定 実技試験」で使用する張弦キットを用いての張弦					
	試験練習(30分×2セット) 判定後、直し					
	試験練習(15分×3セット) 判定後、直し					
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)					
備考						

専門学校ESPエンタテインメント東京 ピアノ調律科

授業科目名	ピアノ修理実技B		授業形態 / 必・選	実習	選択	
	学則上表記	ピアノ修理実技B		年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	80回(160単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置コース	ピアノ／管楽器コース			教員の 実務経験の有無	該当	
担当講師 実務経歴	調律事務所に2年半勤め、個人宅のピアノ調律・調整に携わり、現在はフリーランスとして 中古ピアノの修理や施設のピアノメンテナンスを中心に活動中					
授業概要						
1年次に修得した技術の応用に新たな技術を加え、各部品の修理を行う。						
到達目標						
反復練習による精度、速度等の技術力向上。 「ピアノ調律技能検定 実技試験」合格						
授業計画・内容						
【前期】 1～40回目	グランドピアノのセンターピン交換					
	アップライトピアノの張弦					
	ハンマーシャンクの修理					
【後期】 41～80回目	ハンマーシャンクの修理 細かい修理(ブライドルテープ、バットスプリングコード、バットスプリング)					
	ピアノ調律技能検定 実技試験に向けて 「ピアノ調律技能検定 実技試験」で使用する張弦キットを用いての張弦					
	試験練習(30分×2セット) 判定後、直し					
	試験練習(15分×3セット) 判定後、直し					
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)					
備考						

専門学校ESPエンタテインメント東京 ピアノ調律科

授業科目名	ピアノ修理実技C		授業形態 / 必・選	実習	選択	
	学則上表記	ピアノ修理実技C	年次	2年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	120回(240単位時間)	年間単位数	8単位
科目設置コース	ピアノ／管楽器コース			教員の 実務経験の有無	該当	
担当講師 実務経歴	調律事務所に2年半勤め、個人宅のピアノ調律・調整に携わり、現在はフリーランスとして 中古ピアノの修理や施設のピアノメンテナンスを中心に活動中					
授業概要						
1年次に修得した技術の応用に新たな技術を加え、各部品 of 修理を行う。						
到達目標						
反復練習による精度、速度等の技術力向上。 「ピアノ調律技能検定 実技試験」合格。即戦力になるための技術を身に着ける。						
授業計画・内容						
【前期】 1～60回目	グランドピアノのセンターピン交換					
	アップライトピアノの張弦					
	ハンマーシャンクの修理					
【後期】 61～120回目	ハンマーシャンクの修理 細かい修理(ブライドルテープ、バットスプリングコード、バットスプリング)					
	ピアノ調律技能検定 実技試験に向けて 「ピアノ調律技能検定 実技試験」で使用する張弦キットを用いての張弦					
	試験練習(30分×2セット) 判定後、直し					
	試験練習(15分×3セット) 判定後、直し					
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)					
備考						

専門学校ESPエンタテインメント東京 ピアノ調律科

授業科目名	ピアノ修理実技D		授業形態 / 必・選	実習	選択	
	学則上表記	ピアノ修理実技D	年次	2年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	160回(320単位時間)	年間単位数	10単位
科目設置コース	ピアノ／管楽器コース				教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	調律事務所に2年半勤め、個人宅のピアノ調律・調整に携わり、現在はフリーランスとして 中古ピアノの修理や施設のピアノメンテナンスを中心に活動中					
授業概要						
1年次に修得した技術の応用に新たな技術を加え、各部品の修理を行う。						
到達目標						
反復練習による精度、速度等の技術力向上。 「ピアノ調律技能検定 実技試験」合格。即戦力になるための技術を身に着ける。						
授業計画・内容						
【前期】 1～80回目	グランドピアノのセンターピン交換					
	アップライトピアノの張弦					
	ハンマーシャンクの修理					
【後期】 81～160回目	ハンマーシャンクの修理 細かい修理(ブライドルテープ、バットスプリングコード、バットスプリング)					
	ピアノ調律技能検定 実技試験に向けて 「ピアノ調律技能検定 実技試験」で使用する張弦キットを用いての張弦					
	試験練習(30分×2セット) 判定後、直し					
	試験練習(15分×3セット) 判定後、直し					
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)					
備考						

専門学校ESPエンタテインメント東京 ピアノ調律科

授業科目名	整調応用実技(アップライト)A		授業形態 / 必・選	実習	選択	
	学則上表記	整調応用実技(アップライト)A	年次	2年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	40回(80単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置コース	ピアノ／管楽器コース				教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	楽器店に15年ほど勤め、主にピアノ調律に関する業務に携わる。その後独立し、調律師として活躍中					
授業概要						
1年次に修得した整調実技の能力を高め、時間短縮、技術向上のため、以下の内容を繰り返し行う。 「ピアノ調律技能検定 実技試験」の試験に向けた対策を行う。						
到達目標						
整調時間短縮、精度向上。 「ピアノ調律技能検定 実技試験」合格						
授業計画・内容						
【前期】 1～20回目	全24工程の反復練習。 ピアノ調律技能検定 実技試験に向けて試験内容に含まれる工程や手順の確認。					
【後期】 21～40回目	ピアノ調律技能検定 実技試験に向けて ポイントとなる工程の練習					
	試験練習(30分×2セット) 判定後、直し					
	試験練習(15分×3セット) 判定後、直し					
	1台整調					
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)					
備考						

専門学校ESPエンタテインメント東京 ピアノ調律科

授業科目名	整調応用実技(アップライト)B		授業形態 / 必・選	実習	選択	
	学則上表記	整調応用実技(アップライト)B	年次	2年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	80回(160単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置コース	ピアノ／管楽器コース			教員の 実務経験の有無	該当	
担当講師 実務経歴	楽器店に15年ほど勤め、主にピアノ調律に関する業務に携わる。その後独立し、調律師として活躍中					
授業概要						
1年次に修得した整調実技の能力を高め、時間短縮、技術向上のため、以下の内容を繰り返し行う。 「ピアノ調律技能検定 実技試験」の試験に向けた対策を行う。						
到達目標						
整調時間短縮、精度向上。 「ピアノ調律技能検定 実技試験」合格						
授業計画・内容						
【前期】 1～20回目	全24工程の反復練習。 ピアノ調律技能検定 実技試験に向けて試験内容に含まれる工程や手順の確認。					
【後期】 21～40回目	ピアノ調律技能検定 実技試験に向けて ポイントとなる工程の練習					
	試験練習(30分×2セット) 判定後、直し					
	試験練習(15分×3セット) 判定後、直し					
	1台整調					
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)					
備考						

専門学校ESPエンタテインメント東京 ピアノ調律科

授業科目名	整調応用実技(アップライト)C		授業形態 / 必・選	実習	選択	
	学則上表記	整調応用実技(アップライト)C	年次	2年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	120回(240単位時間)	年間単位数	8単位
科目設置コース	ピアノ／管楽器コース			教員の 実務経験の有無	該当	
担当講師 実務経歴	楽器店に15年ほど勤め、主にピアノ調律に関する業務に携わる。その後独立し、調律師として活躍中					
授業概要						
1年次に修得した整調実技の能力を高め、時間短縮、技術向上のため、以下の内容を繰り返し行う。 「ピアノ調律技能検定 実技試験」の試験に向けた対策を行う。						
到達目標						
整調時間短縮、精度向上。即戦力になるための技術を身に着ける。 「ピアノ調律技能検定 実技試験」合格						
授業計画・内容						
【前期】 1～20回目	全24工程の反復練習。 ピアノ調律技能検定 実技試験に向けて試験内容に含まれる工程や手順の確認。					
【後期】 21～40回目	ピアノ調律技能検定 実技試験に向けて ポイントとなる工程の練習					
	試験練習(30分×2セット) 判定後、直し					
	試験練習(15分×3セット) 判定後、直し					
	1台整調					
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)					
備考						

専門学校ESPエンタテインメント東京 ピアノ調律科

授業科目名	整調応用実技(アップライト)D		授業形態 / 必・選	実習	選択
	学則上表記	整調応用実技(アップライト)D	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	160回(320単位時間)	年間単位数	10単位
科目設置コース	ピアノ／管楽器コース			教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	楽器店に15年ほど勤め、主にピアノ調律に関する業務に携わる。その後独立し、調律師として活躍中				
授業概要					
1年次に修得した整調実技の能力を高め、時間短縮、技術向上のため、以下の内容を繰り返し行う。 「ピアノ調律技能検定 実技試験」の試験に向けた対策を行う。					
到達目標					
整調時間短縮、精度向上。即戦力になるための技術を身に着ける。 「ピアノ調律技能検定 実技試験」合格					
授業計画・内容					
【前期】 1～20回目	全24工程の反復練習。 ピアノ調律技能検定 実技試験に向けて試験内容に含まれる工程や手順の確認。				
【後期】 21～40回目	ピアノ調律技能検定 実技試験に向けて ポイントとなる工程の練習				
	試験練習(30分×2セット) 判定後、直し				
	試験練習(15分×3セット) 判定後、直し				
	1台整調				
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)				
備考					

専門学校ESPエンタテインメント東京 ピアノ調律科

授業科目名	管楽器リペアトレーニングA		授業形態 / 必・選	実習	選択	
	学則上表記	管楽器リペアトレーニングA		年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	40回(80単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置コース	ピアノ／管楽器コース				教員の 実務経験の有無	非該当
担当講師 実務経歴						
授業概要						
内容は原則として管楽器修理応用に準ずる。						
到達目標						
楽器修理各作業の方法・意味の理解、作業の精度・速度の向上。 楽器の仕組みを理解し、状態を確認とメンテナンス技術を習得する。						
授業計画・内容						
【前期】 1～20回目 【後期】 21～40回目	木管楽器リペア フルート タンポ交換調整・連動調整・バランス調整・ヘッドコルク交換・キョコルク交換・パネ調整・パーツ交換					
	木管楽器リペア クラリネット タンポ交換調整・連動調整・バランス調整・ジョイントコルク交換・パネ調整・パーツ交換					
	木管楽器リペア サックス タンポ交換調整・連動調整・バランス調整・ネックコルク交換・パネ調整・パーツ交換					
	金管楽器リペア トランペット ハンダ付け・拔差管調整・パーツ交換					
	金管楽器リペア トロンボーン スライド停止帯交換・スライド調整・パーツ交換					
	金管楽器リペア ホルン ロータリー調整・拔差管調整・パーツ交換					
	金管楽器リペア ヘコ出し					
評価方法	学期末の課題提出の仕上がり状況と修理過程を加味した技術点評価、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)					
備考	修理内容は履修の希望をとり、講師と話し合いのうえ決定する。 選択内容により楽器ごとの履修時間は異なる。					

専門学校ESPエンタテインメント東京 ピアノ調律科

授業科目名	管楽器リペアトレーニングB		授業形態 / 必・選	実習	選択
	学則上表記	管楽器リペアトレーニングB	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	80回(160単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置コース	ピアノ／管楽器コース			教員の 実務経験の有無	非該当
担当講師 実務経歴					
授業概要					
内容は原則として管楽器修理応用に準ずる。					
到達目標					
楽器修理各作業の方法・意味の理解、作業の精度・速度の向上。 メンテナンスを中心に部分調整などの軽修理を習得する。					
授業計画・内容					
【前期】 1～40回目 【後期】 41～80回目	木管楽器リペア フルート タンポ交換調整・連動調整・バランス調整・ヘッドコルク交換・キョコルク交換・パネ調整・パーツ交換				
	木管楽器リペア クラリネット タンポ交換調整・連動調整・バランス調整・ジョイントコルク交換・パネ調整・パーツ交換				
	木管楽器リペア サックス タンポ交換調整・連動調整・バランス調整・ネックコルク交換・パネ調整・パーツ交換				
	金管楽器リペア トランペット ハンダ付け・拔差管調整・パーツ交換				
	金管楽器リペア トロンボーン スライド停止帯交換・スライド調整・パーツ交換				
	金管楽器リペア ホルン ロータリー調整・拔差管調整・パーツ交換				
	金管楽器リペア ヘコ出し				
評価方法	学期末の課題提出の仕上がり状況と修理過程を加味した技術点評価、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)				
備考	修理内容は履修の希望をとり、講師と話し合いのうえ決定する。 選択内容により楽器ごとの履修時間は異なる。				

専門学校ESPエンタテインメント東京 ピアノ調律科

授業科目名	管楽器リペアトレーニングC		授業形態 / 必・選	実習	選択
	学則上表記	管楽器リペアトレーニングC	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	120回(240単位時間)	年間単位数	8単位
科目設置コース	ピアノ／管楽器コース			教員の 実務経験の有無	非該当
担当講師 実務経歴					
授業概要					
内容は原則として管楽器修理応用に準ずる。					
到達目標					
楽器修理各作業の方法・意味の理解、作業の精度・速度の向上。 部分的な調整などの軽修理を中心に習得する。					
授業計画・内容					
【前期】 1～60回目 【後期】 61～120回目	木管楽器リペア フルート タンポ交換調整・連動調整・バランス調整・ヘッドコルク交換・キョコルク交換・パネ調整・パーツ交換				
	木管楽器リペア クラリネット タンポ交換調整・連動調整・バランス調整・ジョイントコルク交換・パネ調整・パーツ交換				
	木管楽器リペア サックス タンポ交換調整・連動調整・バランス調整・ネックコルク交換・パネ調整・パーツ交換				
	金管楽器リペア トランペット ハンダ付け・拔差管調整・パーツ交換				
	金管楽器リペア トロンボーン スライド停止帯交換・スライド調整・パーツ交換				
	金管楽器リペア ホルン ロータリー調整・拔差管調整・パーツ交換				
	金管楽器リペア ヘコ出し				
評価方法	学期末の課題提出の仕上がり状況と修理過程を加味した技術点評価、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)				
備考	修理内容は履修の希望をとり、講師と話し合いのうえ決定する。 選択内容により楽器ごとの履修時間は異なる。				

専門学校ESPエンタテインメント東京 ピアノ調律科

授業科目名	管楽器リペアトレーニングD		授業形態 / 必・選	実習	選択
	学則上表記	管楽器リペアトレーニングD	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	160回(320単位時間)	年間単位数	10単位
科目設置コース	ピアノ／管楽器コース			教員の 実務経験の有無	非該当
担当講師 実務経歴					
授業概要					
内容は原則として管楽器修理応用に準ずる。					
到達目標					
楽器修理各作業の方法・意味の理解、作業の精度・速度の向上。 楽器全体の基本的な調整を習得する。					
授業計画・内容					
【前期】 1～80回目 【後期】 81～160回目	木管楽器リペア フルート タンポ交換調整・連動調整・バランス調整・ヘッドコルク交換・キョコルク交換・パネ調整・パーツ交換				
	木管楽器リペア クラリネット タンポ交換調整・連動調整・バランス調整・ジョイントコルク交換・パネ調整・パーツ交換				
	木管楽器リペア サックス タンポ交換調整・連動調整・バランス調整・ネックコルク交換・パネ調整・パーツ交換				
	金管楽器リペア トランペット ハンダ付け・抜差管調整・パーツ交換				
	金管楽器リペア トロンボーン スライド停止帯交換・スライド調整・パーツ交換				
	金管楽器リペア ホルン ロータリー調整・抜差管調整・パーツ交換				
	金管楽器リペア ヘコ出し				
評価方法	学期末の課題提出の仕上がり状況と修理過程を加味した技術点評価、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)				
備考	修理内容は履修の希望をとり、講師と話し合いのうえ決定する。 選択内容により楽器ごとの履修時間は異なる。				

専門学校ESPエンタテインメント東京 ピアノ調律科

授業科目名	管楽器リペアトレーニングE		授業形態 / 必・選	実習	選択
	学則上表記	管楽器リペアトレーニングE	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	20回(40単位時間)	年間単位数	1単位
科目設置コース	ピアノ／管楽器コース			教員の 実務経験の有無	非該当
担当講師 実務経歴					
授業概要					
内容は原則として管楽器修理応用に準ずる。					
到達目標					
楽器修理各作業の方法・意味の理解、作業の精度・速度の向上。					
授業計画・内容					
【後期】 1～20回目	木管楽器リペア フルート タンポ交換調整・連動調整・バランス調整・ヘッドコルク交換・キョコルク交換・パネ調整・パーツ交換				
	木管楽器リペア クラリネット タンポ交換調整・連動調整・バランス調整・ジョイントコルク交換・パネ調整・パーツ交換				
	木管楽器リペア サックス タンポ交換調整・連動調整・バランス調整・ネックコルク交換・パネ調整・パーツ交換				
	金管楽器リペア トランペット ハンダ付け・抜差管調整・パーツ交換				
	金管楽器リペア トロンボーン スライド停止帯交換・スライド調整・パーツ交換				
	金管楽器リペア ホルン ロータリー調整・抜差管調整・パーツ交換				
	金管楽器リペア ヘコ出し				
評価方法	学期末の課題提出の仕上がり状況と修理過程を加味した技術点評価、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)				
備考	修理内容は履修の希望をとり、講師と話し合いのうえ決定する。 選択内容により楽器ごとの履修時間は異なる。				

専門学校ESPエンタテインメント東京 ピアノ調律科

授業科目名	ウインドアンサンブルA		授業形態 / 必・選	実習	選択
	学則上表記	ウインドアンサンブルA	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	20回(40単位時間)	年間単位数	1単位
科目設置コース	ピアノ／管楽器コース			教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	アンサンブルなどのメンバーとして活動のほか、大学や高校の講師としても活動。				
授業概要					
吹奏楽曲の合奏。					
到達目標					
音色やリズムの作り方、音楽の組み立て方の研究、楽器の演奏技術向上。					
授業計画・内容					
【前期】 1～20回目	・楽器演奏基礎向上(メロディー、ハーモニー、スケール) ・楽曲を決め、アンサンブル練習 ・音程やリズムの練習 ・楽曲にあった音色の作り方の練習 ・演奏発表				
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)				
備考					

専門学校ESPエンタテインメント東京 ピアノ調律科

授業科目名	ウインドアンサンブルA		授業形態 / 必・選	実習	選択
	学則上表記	ウインドアンサンブルA	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	20回(40単位時間)	年間単位数	1単位
科目設置コース	ピアノ／管楽器コース			教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	アンサンブルなどのメンバーとして活動のほか、大学や高校の講師としても活動。				
授業概要					
吹奏楽曲の合奏。					
到達目標					
音色やリズムの作り方、音楽の組み立て方の研究、楽器の演奏技術向上。					
授業計画・内容					
【後期】 1～20回目	・楽器演奏基礎向上(メロディー、ハーモニー、スケール) ・楽曲を決め、アンサンブル練習 ・音程やリズムの練習 ・楽曲にあった音色の作り方の練習 ・演奏発表				
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)				
備考					